

サークル紹介

陸上競技部

走りながら跳んで投げてみろ!?
平成のガンバルマン養成クラブ

学校教育学部中学校教員養成課程

理科専攻三年生

小坂 隼司

大学の陸上部に入る、大学で陸上競技を続ける(なかには大学で陸上競技を始める者もいる)、そんな学生が広島大学には約八〇人います。他のクラブの多分にもれず、我々も本部キャンパスと西条キャンパスに別れて日々のトレーニングに励んでいます。

本部では狭く凸凹の南グラウンドで、ラグ

ビー部の猪突猛進攻撃を避け、サッカー部の

遠方射撃ミサイルボールをかわしながら、ま

た西条の草の生え始めた見事な公認陸上競技場では、真っ暗がりの中で月明かりにストップウォッチをかざし、お互いに悲壮感を漂わせながらの毎日です。

こんな厳しい練習環境のもとでトレーニングをやっているわけですから、部員は皆、ガンバルマン&ウーマン。なかには筋肉隆々のスーパーマンや、お酒を飲むと変身するウルトラマンもありますよ。

今やカール・ルイスを知らない地球人ではない時代です。陸上競技熱が高まる中、自分達がその主人公であることを誇りに思ひながら、我々は自分の課題と責任を持つて、春のインターナショナルと夏の五大学対校、秋の選手権そして冬の駅伝に向け、母校の名誉と自己の栄光を懸けてガンバッテいます。

ラグビー部

打倒、松大

理学部物性学科一年生

柳 英紀

「今日はがんばっていこう!!」
「オウー!!」

午後五時、僕達の練習はこの掛け声から始まります。午後五時から大体七時ぐらいまでは、全員での練習です。スタート、つなぎ、タッチフット、オールマン、フォワード、バックスに分かれてのパート練習と、それぞれ日

によつてメニューは違いますが、これらの中から選んで練習をします。

午後七時ぐらいからは、個人別の自主練習です。スクランムの練習のため、タイヤを押すもの、筋力アップのため、バーベルを上げるもの、走力をつけるため、タイヤを引いて走るものなど、皆、レギュラー獲得のため、打倒松山大学という大きな目標のために、頑張っています。

昨年の一一月二四日に、中国地区代表として四国代表の松山大学と対戦し、惜しくも敗けてしまつたあの試合での涙を糧として、皆毎日二時間から三時間という短い時間ですが、一所懸命頑張っています。「打倒、松大」この合言葉のもと、今年の秋必ず結果を出して、皆で嬉し涙を流したいと思つています。

